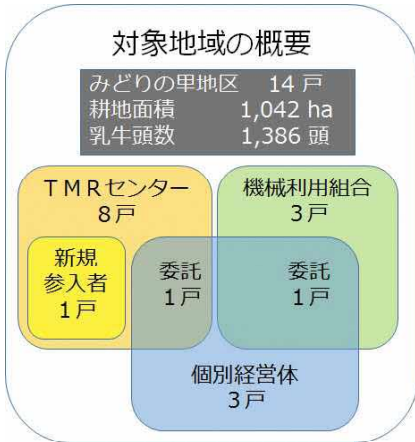


地域資源を活用した総合的な酪農生産力の強化

(別海町中春別)

1 課題の背景*****



普及センターは、営農支援システムや草地資源などの地域資源を生かし「栄養価の高い牧草を収穫し、あわせて乳牛を健康に飼うことで、地域の生産量をアップさせる」という目標達成に向けた地域の取組を支援しています。



2 活動の経過*****

地域の皆さんとの課題共有



地域の女性と我が家の課題について意見を交換



本年は、以前から取り組んでいる「粗飼料を良くしたい」と、意向調査の結果「解決したい我が家の課題」としてあげられた「疾病を減らしたい」「繁殖を良くしたい」に取り組めました。

関係機関も協力して現場で検討しています



授精状況を定期的に確認しあっています



「疾病を減らしたい！」

個別の条件にあわせ、カルシウム給与や飼料給与方法を提案し、農業者の取組を支援しました。

「繁殖を良くしたい！」

4戸が取り組む「繁殖チャレンジ」で、農業者と一緒に繁殖管理状況を3週間おきにチェックして、受胎成績向上を目指しました。

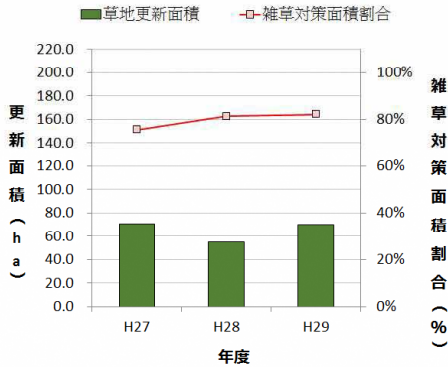
3 活動の成果*****

①「粗飼料を良くしたい！」取組

草地更新時の雑草対策が定着してきました
サイレージの更なる品質向上が期待されます

地域へ波及

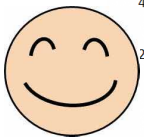
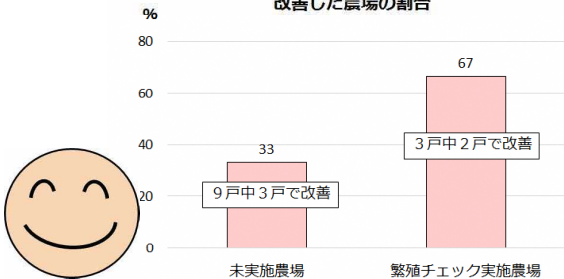
J A 中春別の発案で「自分で植生を判断できるようになる」と植生改善研修会が開催されました



②「疾病を減らしたい!」「繁殖を良くしたい!」取組

乳牛繁殖の定期チェックで
改善がすすんでいます

繁殖成績(空胎日数のH27・H29比成績)が
改善した農場の割合

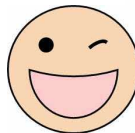


L農家の声

発情の定期チェックをはじめてから
家族みんなで見るようになったよ!

7戸で周産期疾病が減少しました
(特に乳熱・低カルが減少)

| 農家名 | 区分 | 周産期疾病発生率 | | | 基準年対比 H29-H27 |
|------|---------|----------|-------|-------|------------------|
| | | H27 | H28 | H29 | |
| A | TMRセンター | 18.8% | 4.5% | 5.7% | ▲13.1 |
| B | | 19.3% | 14.9% | 6.9% | ▲12.4 |
| C | | 14.0% | 13.7% | 14.0% | ±0.0 |
| D | | 13.9% | 11.6% | 21.8% | +7.9 |
| E | | 26.8% | 27.4% | 36.6% | +9.8 |
| F | | 19.4% | 14.3% | 18.3% | ▲1.1 |
| G | | 9.8% | 13.7% | 7.1% | ▲2.7 |
| H | - | - | 20.0% | - | |
| I | コントラ | 4.4% | 9.1% | 6.7% | ▲2.3 |
| J | | 1.5% | 5.0% | 3.8% | +2.3 |
| K | | 10.2% | 11.0% | 7.7% | ▲2.5 |
| L | 個別 | 15.7% | 20.0% | 25.5% | +9.8 |
| M | | 25.8% | 14.8% | 21.3% | ▲4.5 |
| N | | - | - | - | - |
| 地域平均 | | 13.7% | 12.6% | 13.9% | +0.2 |



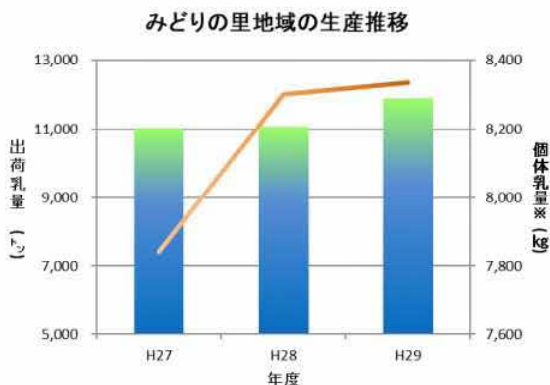
A農家の声

獣医に診せる機会が減ったね。出荷乳量も増えたよ!

③「総合的な酪農生産力の強化」の取組

生乳生産量は基準年(H27)対108%

農家経済も好調に推移



| 年度 | H27 | H28 | H29 |
|------------|-------|-------|-------|
| 所得額 ※1 | 100% | 114% | 122% |
| 所得率 | 22.6% | 24.4% | 24.1% |
| 売上高負債比率 ※2 | 45% | 40% | 36% |

※1 基準年(H27)対比の所得額割合
(集計はデータ提供に同意ある12戸平均)
※2 法人を除く10戸の平均

生乳生産量増加に加え、乳代単価の向上・乳牛個体販売価格の上昇もあり、収益が増加しています。

※個体乳量は出荷乳量÷経産牛頭数での算出